

2021年7月4日（日）聖霊降臨後第6主日

銀座教会 家庭礼拝

礼拝招詞「希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。」

ローマの信徒への手紙5章5節

主の祈り

天にまします我らの父よ、願わくはみ名を崇めさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄とは限りなく汝のものなればなり。

アーメン

使徒信条

讚美歌 229 まく者いそしみ 種まきしに

聖書 マルコによる福音書4章1～9節

1 イエスは、再び湖のほとりで教え始められた。おびただしい群衆が、そばに集まって来た。そこで、イエスは舟に乗って腰を下ろし、湖の上におられたが、群衆は皆、湖畔にいた。2 イエスはたとえでいろいろと教えられ、その中で次のように言われた。

3 「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。4 蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。5 ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。7 ほかの種は茨の中に落ちた。すると茨が伸びて覆いふさいだので、実を結ばなかった。8 また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」9 そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。

牧会祈禱

天の父なる神さま。6月のひと月を守られ7月を迎えました。礼拝を献げる恵みを与えられ心より感謝いたします。今月は銀座教会創立記念日を18日に迎えようとしています。1890年築地教会の伝道により、銀座教会が与えられ131年を迎えます。聖霊なる神の憐れみにより招かれ、赦され、主の御前に立つことが出来ました。あなたの導きにより教会の歴史を続けられ今日を迎えます。主の御委託に応え、御言葉を宣べ伝える御業に仕えたいと願います。人間の栄光ではなく神の栄光のみ現すことが出来ますように、あなたの栄光のみ喜びとすることが出来ますようにお導きください。コロナ禍の中、一人一人に平安と慰めをお与えくださり、あなたの御言葉によって希望を見いだす者としてください。感染者はじめ命を支えるために働く医療従事者を御手の内覚えお支えください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン

主イエスが湖のほとりで教えておられた時、「おびただしい群衆」が主イエスの周りに集まってきました。主イエスは、陸から少し離れ、舟に乗って湖の上から湖畔にいる群衆に向かって教えておられます。

主イエスは「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」（マルコ1：15）と語り、ガリラヤ湖周辺、カファルナウム、ガリラヤ中の会堂に行き宣教と愛の業を行いました。主イエスによって御言葉が語られ、御言葉を聞いた人々の中で愛の御業が実現しました。最初は、御言葉が語られ、4人の漁師が主イエスに従いました。汚れた霊に取り憑かれた男から汚れた霊が追い出されました。多くの病人が癒やされました。多くの人々から悪霊が追い出され、重い皮膚病を患っている人が清められました。中風の人がいやされました。罪人の仲間とされていた徴税人レビが立ち上がり主イエスに従いました。手の萎えた人がいやされました。そして、主イエスは12人を選び、弟子にしました。これらの愛の業は、主イエスの教えと連動していました。主イエスの愛の業によって主に従い癒やされた人々は、彼らが立派だったとか努力したとか評価されたからとは一切書かれていません。主イエスの一方的な憐れみと恵みによって奇跡が起こったとしかいいようがありません。まさに徹頭徹尾、神の御業が行われ、神の国が近づいてきているのです。

主イエスの教えと愛の業が続いた時、主イエスは律法学者たちから言いがかりをつけられます。例えば、主イエスが多くの人の中から悪霊を追い出すことが出来るのは、主イエスが悪霊の親分だからだという言いがかりを受けました。妬まれました。とうとう主イエスを殺害する計画が練られるようになりました。

このような流れの中で、主イエスの宣教の言葉は、ふんだんに宣べ伝えられていますが、具体的な教えの内容についてはこれまでほとんど記されていません。

本日与えられた聖書箇所4章1節以下は、主イエスのたとえ話しによって教えの内容が語られています。これまでの愛の業が実現する力の源がこの教えから少し見えてきます。

5章以下では、「レギオン、大勢」という名の悪霊たちが2千匹の豚の中に逃げ込み、豚共々溺れ死んだ出来事が記されています。悪霊に満ち溢れた世界において、主イエスが悪霊と戦い、御言葉を一人でも多くの人々に語っている姿が浮き彫りにされています。6章では、主イエスの御言葉を聞く五千人の人々に食べ物を与える奇跡が記されています。このような1章から6章までを見ながら、主イエスの種まきのたとえをお聞きしたいと思います。

主イエスは、私たちが生きる世界において、私たちがどれだけ悪霊に囲まれているかを見て、知っているのではないのでしょうか。私たちは全く気付くこともないような悪霊の世界を主イエスは受け止め、憐れみ、その中で孤軍奮闘してくださる主イエスのお姿が聖書に記されているのです。悪霊との戦いのただ中で、9節「聞く耳のある者は聞きなさい」といわれています。主イエスが悪霊と対決して、悪霊から私たちを救い出しながら、切実な招きの言葉が語られているのです。

スト以前とキリスト以後では、全く違う世界に変えられたと言えないでしょうか。キリスト以前、救い主を待望していても、この地上は、特別な人間が支配していると疑わない神が見えない世界でした。苦難、迫害、世の思い煩い、富の誘惑、欲望によって神が見えない、御言葉を受け入れられない世界でした。神の御言葉が芽生え、育ち、実を結ぶことを主イエスによって現実に見ることが出来たのです。

ジョン・ウェスレーは、世界は我が教区と語りました。世界に福音が告げ知らされる信仰の確信が与えられたのです。ウェスレーは自分の力で完成させるという夢を見ていたのでもないし、大風呂敷を広げたのでもありません。そうではなく、神の勝利を確信していたのです。だからこそ、世界が癒やされ神の恵みの御支配によって、悪霊支配ではなく愛の業を見る「我が教区」であると信仰によって明日を見ているのです。私たちは、自分自身を見つめるとき、悪霊の支配しか見えない弱く愚かな者です。しかし、主イエスの教えと愛の業を通して、御言葉は成長して根を張ることを確信するのです。悪霊に対する主イエスの勝利宣言を聞くのです。

主の祈りは、「われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ」と主イエスと共に祈ります。人生は常に試練の連続です。いつも試練の中に進んで行きます。この祈りを毎日祈らないわけにはいかないのです。私たちはこの祈りを祈るたびに、この試練は「われらを」と祈るのですから私だけが試練に遭遇しているのではないことを弁えなければなりません。試練に勝利した主イエスが荒れ野の誘惑によって勝利のお姿を示してくださいました。神の国、神の御支配によって悪から救い出してください道が与えられています。「悪魔をご自分の死によって滅ぼし」（ヘブライ2：14）とあるように、神の国が近い、神の国が到来したことを希望の光として与えられているのです。御言葉の力に感謝して祈りましょう。

天の父なる神さま。悪霊の支配に見える世界に主イエス・キリストが神の支配を現し、御言葉の種が芽生え、育ち、実を結ぶ恵みを感謝いたします。神の御支配を見つめつつ、神の国を見るまなざしをお与えください。主イエスの御名によって祈ります。

祈 禱(各自、自由にお祈りください)

祈禱課題 病を負っている方々とそのご家族に主の癒やしを祈りましょう

命の危機、不安と孤独に直面している方々に主の恵みを祈りましょう

医療従事者の健康が守られ使命が支えられますように祈りましょう

讃美歌 234A 昔主イエスの 播きたまいし

献 金

頌 栄 544

祝 禱

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜るように。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。

アーメン